

第 33 期第 1 回横浜市児童福祉審議会（総会） 会議録

開催方法	書面会議にて開催 (新型コロナウイルスの感染拡大防止のため)
開催日	開催日（資料送付日） 令和 2 年 11 月 10 日 審議期間 令和 2 年 11 月 10 日～令和 2 年 12 月 25 日
出席委員	青山委員、明石委員、新井委員、荒木田委員、飯塚委員、石井委員、岩佐委員、大庭委員、小木曾委員、加山委員、小林委員、澁谷委員、高橋温委員、高橋雄一委員、多田委員、田辺委員、天明委員、新堀委員、細川委員、森委員、山瀬委員、渡辺委員（50 音順）
欠席委員	なし
議題	1 審議事項 (1) 委員長及び副委員長の選出 2 報告事項 (1) 部会報告 (2) 第 4 期横浜市障害者プランの策定について (3) 令和元年度「横浜市子供を虐待から守る条例」に基づく実施状況報告 (4) 令和元年度 被措置児童等虐待について
決定事項	審議事項については、事務局案を承認することとする。
	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の選出【資料 4】 →質問・意見なし</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 部会報告【資料 5】</p> <p>○天明委員 施設入所児童の自死について、年齢や状況、再発防止として検討したことなどについて教えていただけますでしょうか。また、かなりショックな出来事だと思われるので関係者へのケアがどうなっているかも教えていただけますでしょうか。</p> <p>○事務局 10 代女兒が、施設の自室で自死を図っているところを職員が発見し、救急搬送されましたが、残念ながら病院で亡くなりました。当該施設入所中の全児童に対しては、児童相談所と施設の心理士が連携し、面接を行うとともに、施設の全職員に対しては、民間支援団体が面接を行っています。継続的なフォローを、必要に応じて実施しています。</p> <p>○荒木田委員 児童虐待による重篤事例検証報告書（平成 30 年度発生分）事例 I について、「保育所の送迎」があれば実母の物理的・心理的負担は軽減されたはずですが。保育所は日常の様子をみてもらえる大切な場なので、「現実的に保育所に通える仕組み」も考えるべきだと思います。</p> <p>(2) 第 4 期横浜市障害者プランの策定について【資料 6】</p> <p>○荒木田委員 大変大切な計画だと記憶していますが、これは途中経過の報告としてとらえればよろしいでしょうか。どのような意見が出てどう反映したか、内容がわからないと何とも</p>

意思の表明のしようがありません。

○事務局 障害者プランは横浜市障害者施策推進協議会及びその部会（障害者施策検討部会）において議論・策定しており、児童福祉審議会へは第4期横浜市障害者プラン策定についての経過報告となります。

障害者プランの策定に向けて昨年度に行ったグループインタビュー及び当事者ワーキングでのご意見や、当事者アンケートの結果、今年度に行った計画素案へのパブリックコメントのご意見・ご提案及び今後策定する原案（案）への反映案については、別添資料のとおりです。

○飯塚委員 障害のある方にとって、より良いプランが策定されることを期待いたします。

○森委員 障害児福祉サービス利用の見込み量は、保護者の利用希望のみ数値に反映されています。障害児本人の成長のための福祉サービスとなるよう、プランを策定してください。

○細川委員 利用者が利用しやすい、安心な生活ができる事業の展開を期待します。

(3) 令和元年度「横浜市子供を虐待から守る条例」に基づく実施状況報告【資料7】

○荒木田委員 人員体制も厳しい中、きめ細かく対応されている様子がよくわかります。本当にありがとうございます。手間になりますが、別添でもよいので「回数や数」だけでなくそれだけ取り組んでどのような「反応・声」があったのか、良い点、改善点などに触れられると良いと思います。次回の参考にさせていただけると有難いです。

○飯塚委員 悲惨な虐待を未然に防げるよう、引き続きサポート体制の維持強化を期待いたします。

○明石委員 横浜市子供を虐待から守る条例に係る施策はもっとPRしてほしい。

○岩佐委員 コロナ禍による影響が懸念される昨今の社会情勢ですが、令和元年度の相談や研修に関する実施件数は、資料を拝見しますと全体的に数字が大きく落ち込んでいるものはないように感じました。ただし、今年度は大きく影響が出るかもしれません。もしも、今年度の見込み（例えば、「この相談・研修は落ち込みそうという見込みが既に出ている」）などございましたら、教えていただき、今後の参考にしたいと思います。

○事務局 令和2年度の法定研修、実地研修は、日程変更を行いました但しすべて実施しています。また、専門的な職員の育成研修は、人数調整等を行い、知識の獲得に課題が残らないよう実施しています。

相談受付件数については、令和2年4月～7月の昨年度の同時期と比較すると、ほぼ横ばいとなっており、大きな変化は見られていません。

○渡辺委員 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度の件数が増えるのではないかと心配しています。

- 高橋 温委員 児童相談所職員研修の中に、一時保護所の職員研修が含まれていると思われませんが、一時保護所の機能・役割に応じた独自の職員研修ができると良いのではないのでしょうか。また、一時保護所の夜間指導員に対する研修も必要と考えます。
- 天明委員 横浜市が虐待防止のためにしている事業として羅列されており、日々の努力に感謝しています。ただし、あまりにもすべてが虐待に関係するもので、目的が見えにくく感じます。実際に通告経路として顕著な警察署は、主に面前DVと以前に説明を受けましたが、これが各事業と連動しているのかどうかなど、判別が難しいことを課題として考えております。報告が利用者数や相談件数など数字のみで提示され、その数字がどうなることが虐待防止なのか、わかりにくいと感じます。子ども・子育て支援事業計画などでは一般的に子ども関連の事業が増えて関心が高まることは歓迎ですが、この条例の場合は目的遂行のためのものであって欲しいため、早期発見や未然防止に役立った事例など報告書に入れていただけると事業の意味も伝わりますし意欲も高まるのではないかと考えます。ご検討ください。
- 新堀委員 被虐待児の心中を除く死亡年齢の最多はゼロ歳児である事実に加え、コロナ禍で外出機会が減り、若年層の望まぬ、予想外の妊娠が問題となっています。若年女性の自殺率の上昇もみられますので、「にんしんSOS」の役割はいま、非常に重要なものだと認識しています。相談実績も年々上昇しており、匿名で相談できる窓口として大切だと考えます。
- 新堀委員 にんしんSOS ヨコハマはメール相談も可能とありますが、わかる範囲で結構ですので電話と異なる相談内容が見られるか等、教えていただけましたら幸いです。
- 事務局 にんしんSOS ヨコハマでのメール相談についてですが、電話相談に比べて10代、20代の若年層の相談件数の割合が高い傾向にあります。
- 高橋 温委員 小中学校と児童相談所や要対協との連携がより深まるように、学校・児相・区
の合同研修の機会があっても良いのではないかと考えられます。
- 岩佐委員 「児童相談所全国共通ダイヤル三桁化」の接続状況が958件（平成30年度）から515件（令和元年度）に半減しているように見えますが、これは集計方法の変更などによる見かけ上の減少なのでしょう。
- 事務局 本市では、平成13年度から「よこはま子ども虐待ホットライン」を開設し、フリーダイヤルで24時間365日児童虐待相談・通告を受付けています。平成27年に導入された全国共通ダイヤルについては、開庁時間は所管の児童相談所へ、夜間・休日は「よこはま子ども虐待ホットライン」に転送して対応しています。
令和元年度の全国共通ダイヤルへの入電件数は減少していますが、「よこはま子ども虐待ホットライン」の入電件数は増加していることから、「よこはま子ども虐待ホットライン」の全市的な広報の結果、全国共通ダイヤルを介さずにホットラインへご連絡頂く機会が増えたことなどが、要因であると考えられます。

○新井委員 里親数の増加の割に委託里親及び児童数が平成 29 年から減少傾向にあるようです。理由は色々あるかと思いますが、今後の増加を期待しています。

○細川委員 児童相談所と各区役所について、より連携を取れるよう希望します。虐待案件の資料等の簡略化により担当者の作業の軽減を望みます。養育支援家庭訪問等ますます増加傾向になると思われま。一人当たり何件訪問するのか知りたいと思いま。この点も負担軽減を望みます。

○事務局 養育支援家庭訪問については、昨年度実績で、訪問員 1 人あたり約 31 件/月の訪問を行っています。今年度は、訪問員を 8 人から 13 人に増員した影響もあり、上半期実績で約 22 件/月となっています。なお、全体の訪問件数は、昨年度 3,003 件に対し、今年度上半期の速報値では 1,693 件となっており、年間ベースでは 1 割強の増加が見込まれます。

○細川委員 「かながわ子ども家庭 110 番相談 LINE」の SNS 相談が始まっていますが、利用について詳細を知りたいと思いま。

○事務局 7 月～10 月の「かながわ子ども家庭 110 番相談 LINE」に入った相談のうち、横浜市民からの相談件数は 464 件で、このうち、虐待の相談件数は 88 件でした。保護者だけでなく、子ども本人などからも相談が寄せられています。電話よりもアクセスしやすく、有効な相談手段となってきました。

資料	資料 1 第 33 期横浜市児童福祉審議会委員名簿・臨時委員名簿 資料 2 第 33 期横浜市児童福祉審議会事務局名簿 資料 3 横浜市児童福祉審議会条例、横浜市児童福祉審議会運営要綱 資料 4 正副委員長の選出 資料 5 部会報告（里親部会、保育部会、児童部会、障害児部会） 資料 6 第 4 期横浜市障害者プランの策定について 資料 7 横浜市子供を虐待から守る条例に基づく令和元年度実施状況（報告） 資料 8 令和元年度 被措置児童等虐待について（報告）
別添資料	第 4 期横浜市障害者プラン資料（意見抜粋、アンケート結果、パブリックコメント実施結果、原案（案））